

令和6年度「ユネスコウィーク」 ユースフォーラム 分科会概要説明

(2024年10月21日時点)

A	教育	みんなで作る「これからの学び」のカタチ —ユネスコの勧告を手がかりに—
【登壇者】 モデレーター：川端 優木（次世代ユネスコ国内委員会委員） 講師：永田 佳之（聖心女子大学、日本国際理解教育学会長） 運営協力：玉川大学ユネスコクラブ、奈良教育大学ユネスコクラブ		【会場】 第1ミーティングルーム
		【形式】 ハイブリッド開催（参加型ワークショップあり）
<p>本分科会では、「これからの学び」について、ユースを中心に、教員、行政、NPO 団体、企業等、様々な立場の皆さんと共に考え、未来へのビジョンを共に描くワークを行います。またスペシャルゲストとして、2023年11月の第42回ユネスコ総会で採択された『平和、人権及び持続可能な開発のための教育に関する勧告』にご知見のある永田佳之先生（聖心女子大学）を招き、ご講演いただきます。私たちが暮らす社会は、以前にもましてますます変化が激しく、先行き不透明になっており、これからの社会を生き抜く子どもたちの育成に教育の在り方が注目されています。ユースが主体となり、社会全体で学びの場を育む大きな一歩に是非ご参加ください！</p>		

B	防災	ユネスコの視点で防災を学び、実践する —未来に生きる防災—
【登壇者】 モデレーター：溝淵 実槻（次世代ユネスコ国内委員会委員） 講師：安川 絵一郎（ユネスコ自然科学局防災課長） 柿崎 喜宏（室戸ジオパーク推進協議会地質専門員） 運営協力：長岡技術科学大学学生 SDGs プロモーター		【会場】 レセプションホール
		【形式】 ハイブリッド開催（ワークショップは配信のみ）
<p>本分科会では「ユネスコの視点で防災を学び、実践する —未来に生きる防災—」を全体のテーマとして掲げ、防災学習と実践型ワークショップを実施します。前半では「ユネスコ×ジオパーク×防災×ユース」をテーマとし、ユネスコ自然科学局防災課長の安川様およびジオパーク地質専門員の柿崎様を招待し、ユネスコの視点をふまえた防災学習を行います。後半では「未来に生きる実践」をテーマとし、避難所を想定した備品を用いて、避難所生活を快適に過ごすための「モノづくりワークショップ」を行います。</p>		

C	まちづくり	共に考える「我がまち」の未来 —ユネスコ創造都市ネットワークを事例に—
【登壇者】 モデレーター：調整中（次世代ユネスコ国内委員会委員） パネリスト：調整中（ユネスコ創造都市やまがた 関係者及びユース）		【会場】 第2ミーティングルーム
		【形式】 ハイブリッド開催（参加型ワークショップあり）
<p>「まち」は、これまで幾多の天災や疫病、社会的動乱を乗り越えながら、それぞれ独自の形で発展を遂げてきました。その過程で育まれた固有の文化や伝統は、人々の誇りとして、住民の絆を強め、互いが支え合う礎となってきました。しかしながら、便利さや世界共通のブランド、強大な多国籍企業への依存が進む中、地域産業が衰退し、伝統文化の価値が見失われつつある現状も見逃せません。今こそ、私たちは「まち」の「独自性」や「強み」を再認識し、共に未来を考えることが重要です。本分科会では、「我がまち」の魅力や創造性を再考し語り合うワークショップを行うとともに「まち」の創造性を引き出し世界とつながる取り組みとしてユネスコ創造都市ネットワーク事業（UCCN）について紹介します。また、UCCN に映画分野で加盟する山形市の関係者・ユースとともにまちづくりと創造都市活動の関わりや創造都市活動へのユースの参画について議論するパネルディスカッションを行います。</p>		